時事新報

大婚の盛典

本日宮中に於て行はせらるゝ天皇皇后兩陛下御結婚滿二十五年の御祝典は西洋に所謂銀婚式なるものにして我國に於ては今回始めての御式なれば其事は新なれども兩陛下の御伉儷久しく續らせられずして茲に二十五年の春秋を過ごさせられたるは此上もなき目出度き御次第にして帝室の御慶、際限ある可らず從來帝室の御祝儀は御即位の大禮を始め立后、立太子の御式等一にして足らざれども斯くも目出度き兩陛下の御盛運を祝し奉るの機會なかりしは吾々臣民の情に於て頗に遺憾に堪へざる所なりしに今回の御式は帝室の御慶事たるは申す迄もなく恰も其遺憾の情を滿足せしむるものにして一般臣民の獻壽措く能はざる所なり即ち一般の歡情は全國中に溢れて都會市邑の如きは勿論、津々浦々までも到る處として祝意を表するの催しあらざるはなし盛なりと云ふ可し我輩は本日の盛典に際して宮中の御式の如何ばかり盛大にして兩陛下の御機嫌に麗はしき御有樣を察し奉り又全國の臣民が百事を擲て只管祝意を表するに餘念なき情態を見れば眼中たゞ帝室の御盛運と國民忠誠の情とを認むるのみ彼の政論の紛界に於ては或は官と云ひ民と云ひ或は何黨何派など稱して互に説を異にして互に相爭へども一たび帝室に對し奉るときは官もなく民もなく黨もなく派もなく等しく忠誠一偏の臣民にして苟も帝國の心を懷くものはある可らず自から是れ日本國民固有の美質にして今更ら珍らしからぬことなれども本日の如き機會に際しては特に其美質の發揚を認む可し上には盛德無量の帝室あり下には忠誠無二の國民あり我輩は帝室の御盛運と共に我國運の萬々歲を祝せんとするものなり又今回の御式に就て吾々一般に感佩に堪へざるは國中の老齢者に墨畫の御沙汰あると同時に人民よりの獻上品を許可せられたる御事なり帝室よりの墨畫は毎度の事にして事に喋々するまでもなけれども獻上品を御受納あらせらるゝの一事は實に難有き次第にして一反の織物、一對の器具その物は僅なりと雖も臣民の至情を表するの献品として辱なくも御手許に留置かせらるゝとあれば獻上者の身に取ては此上の滿足ある可らず即ち帝室の恩徳をして國中に遍からしむる所以なる可し謹みて蕪言を述べ全國一般の臣民と共に本日の盛式を祝し奉るものなり

雜報

○昨年英國商工業の大勢　（去る七日の續き）

米國恐慌の影響　印度造幣局閉鎖の後間もなき頃より合衆國の[illegible]は甚しく成り行き爲めに倫敦に於ける[illegible]は非常に下落し[illegible]中[illegible]の如きは[illegible]る不入[illegible]にて[illegible]の[illegible]も害を受けたるのみ[illegible]一とり[illegible]昨年の五箇月間米國へ向け[illegible]したる[illegible]の[illegible]に上らざりし[illegible]に及ぼしたる[illegible]は甚だ多からず[illegible]の[illegible]に於て[illegible]するものゝ夏の始めの頃は[illegible]かりしが[illegible]に[illegible]と且[illegible]より[illegible]へ向け金を[illegible]する[illegible]日に至らざる前に[illegible]ひたるもの[illegible]へ少からざりし[illegible]に於て手形交換所證券を發行し一般の信用壞へたるの時に當りては流通高珍らしき僅に少なく其上是等の手形は適る明治二十三年の恐慌に不信用を招かず若くは其時巧みに困難を切拔けたる所より大に信用を博せし商店發行のものなるを以て期日通り約束の仕拂ひを受け更に難を感ぜざりしのみならず合衆國の恐慌次第に極點に進まんとせし頃には好んで買入れんとする資本家も多く英國人民に斯くの如くなれば大陸の資本家も之を助くると云ふ工合にて一時非常の下落より茲に恐慌を起さんとするを直ちに喰止め尚ほ夫れ計りか鐵道會社其他の大會社は信用の最も衰へたる際歐洲に於て金貨は九百萬磅を借入れ紐育に輸入して以て恢復の一助となすことを得たり左りながら米國の困難より生ぜし株式取引所の騒擾及び貿易の不景氣に觸て加へて前に云ふが如く殆んど三十萬人の職工一時に休業せしミツドランド地方石炭の同盟大罷業起りし爲め國難は更に進んで苦痛となれり同罷業は七月の末に起りて十一月まで續き外務大臣ローズベリー卿か双方の間を仲裁し本年二月一日相會し相談を遂ぐるまでは更に貿易を減ぜしるのみとして漸く一時落着したれども之が爲め全國の商工業は漸く擾亂し決死の勞働者の業を失ふたるもの無數と云ふ故を知らず鐵道貨物を減じたる等の結果は忽ち株式市場に及ぼして一層の下落を來せり

●英國銀行　上來項を分ちて叙したる如く諸商業總べて不如意なりしにも拘はらず金融市場は不景氣にも之が爲めに亂れたるのみ少く目立ちたる銀行の倒れたるものなきのみならず其危機に陷らんとしたるものさへ見えず一時左る評判ありても數月の間に消滅して元の信用に復し特に昨年の奇觀は前年に比し信用の一層恢復したるのみと是なり左りながら英國銀行は一年中に割引歩合を改めたるのみと十三度より少なからざりし勿論其重なる原因は濠洲銀行の恐慌及び米國の困難によりてなり即ち年の始めは二歩にして一月末は二歩半に落ち五月始めに三歩となり次に三歩半となり次に四歩となり六月に至りて引續き二度び落ちて結局二歩となり次に八月に四歩となり又進んで五歩となり十月には又三歩となり夫れより年を踰ゆるまで其割合を改めざりし左れば最も低利なりしは年間の二歩半最も高利なりしは五歩にして年中の平均は昨年の二磅十志に對し三磅一志の割合なりし又同銀行の金貨及び金塊は平準以上にありし時多く最も少かりしは五月の中旬二千三百五十萬磅最も多かりしは其十二月日餘二千九百二十餘萬磅なりし

●金銀塊の出入　は夥しき高なりし年の始め四箇月間は大陸に於て金の需用多く輸入するものを悉く取去り英國銀行より引出したるも少なからず五六七の三箇月間は大陸の需用止み外國より輸入したる高は米國よりしたる四百萬磅を合せ殆んど八百萬磅なりしが其内殆んど二百萬磅は銀行恐慌の爲め濠洲へ輸出せり八月に至り再び外國の需用起り米國へ向け英國銀行より輸出したるもの殆んど五百萬磅其他英國正貨を以て殆んど四百萬磅は世界の他の諸地方へ向け輸出したり又銀塊は印度に於て造幣局を閉鎖し米國に於てシャーマン法を廢したるにも拘はらず需用甚だ多く印度、支那及び日本へ輸出したる高、實に巨額なりし爲めに其代價は年の始めに於ては一オンスに付き三十八片十六分の五にして六月に至るまでは殆んど變動なく其月に於て三十八片四分の三となり同二十六日（印度造幣局の閉鎖を公布せし日）より三十日までに三十片となり九月に至りて一旦三十五片に恢復し夫れより漸々下落して三十一片二分の一にて年を越へたり（完結）

○運河いよ／＼開通す　英國リバープール港よりマンチエスター府に達する有名なる運河開鑿工事は此程いよ／＼竣工して開通せしより今迄は同港より輸入する商品はリバープール港にて陸上げし直ちにマンチエスター府に輸送して陸上げするのことなりしより其運賃に於て多くの節減を見るに至りしが彼の米國その他より輸入する綿花の如きも一磅八分の一片だけ此迄よりも安くマンチエスター府に到着するに至りしかばリバープール港に在る綿花仲買人は孰れ引上げてマンチエスター府に移轉することに決したる由にて之より以後リバープール港の繁盛は轉じてマンチエスター府に移りマンチエスター府は今後倫敦に次ぎ第二の商業地となるに至るべし云々と英國某の或る雜誌に見えたり

○紡績職工誘拐紛議の落着　大阪朝日紡績會社職工誘拐紛議の始末は已に記載の如く中央綿絲同盟會の決議に基き裁判委員七名が去る五日同紡績會社に赴き社長日野九右衛門氏外重役に談判したるが遂に同會社より[illegible]を支出し[illegible]せし職工を取調べ大阪府花洲紡績會社に照會するに決し委員一同引取りたるが翌七日は委員より大、[illegible]兩會社に右の始末を報告し尚ほ爾後の方策は同盟各社に通報して一先づ此に該紛議事件の局を結ぶに至りたるよし

○品川電燈會社資本金增加の議　品川電燈會社に於ては今回事業を擴張する爲め資本金十萬圓を增加して二十萬圓に改め現在株主の所有に據りて舊株一株に付新株一枚宛を配布する筈なるが來る二十五日同會社に於て臨時株主總會を開き之を議定すと云ふ

○金屬器製造株式會社の創立　大阪の實業家森田慶七郎氏其他に於て組織する[illegible]は支那の需用益す開け一個年の輸出高七八十萬圓の巨額に達し尚ほ昨年より金屬器を製出し專ら支那內地に輸出し意外の好結果を得たるを以て製造人森田氏が東京の[illegible]章太郎、西村竹五郎氏等と共に資本金十萬圓を以て金屬器製造株式會社を創立することゝなし其本社を東京神田區錦町に設立し製造所は森田氏が所有たりし大阪西成郡[illegible]村所在の製造所を買收するに決し追て大阪に於て發起人會を開き社長は正田氏副社長を西村氏取締役を森田氏外數名に委任する筈のよし

○札幌麥酒會社の火事　去る一日午前一時二十分頃北海道札幌北二條東四丁目[illegible]なる札幌麥酒會社構內[illegible]にあるチヤン引場より出火せしが消防に手を盡せしよりチヤン引場を同場に近接せるボイラー室とを消失せしのみにて大事に至らず同七時鎭火したりと

○棉花及紡績絲の景況　前號の大阪電報に記載の如く[illegible]は去る五日百六十四ルーピーに下落せし[illegible]は直ち印度棉の[illegible]を來し[illegible]及米國[illegible]一[illegible]上り[illegible]入十[illegible]の[illegible]を來したりこれに[illegible]り[illegible]六日に掛け二[illegible]の[illegible]となり六日の[illegible]は定期[illegible]三月限りより五十錢高にて[illegible]二十手[illegible]九十七圓五十錢右十六手[illegible]九十一圓の取引ある[illegible]